

とちぶん会報

No.53

2018年10月5日

栃木県文芸家協会 発行人 小林 守城
事務局／栃木県下都賀郡壬生町中央町 16-18 三上博史 方
〒321-0226 TEL090-9318-2492

夏季講演演会を開催・講師は文藝春秋 岡崎元出版部長

前号で会員に案内しました本年度の夏季講演会は、講師に岡崎正隆先生をお迎えし、8月19日(日)ホテル丸治において予定どおり開催されました。非会員も含めて29名の参加がありました。

演題は「芥川賞・直木賞の秘話」で、元文藝春秋出版部長である岡崎先生の豊富な経験に基づいたお話がたくさん披露されました。メディア等では紹介されない逸話や受賞作家の横顔が、戦前の第1回まで遡っていくつも語られ、参加者は熱心に聴き入りました。

小説家が芥川賞や直木賞を受賞したいがために、どれほど苦勞するものなのか、受賞者と受賞が叶わなかった者との明暗などが、既に広く知れ渡っている話しのほかにご自身が担当された作家先生のエピソードなども交えながら、丁寧におもしろく語っていただきました。

予定時間をオーバーして2時間の講演となり、熱のこもったものとなりました。

当協会の各部門においても、いろいろな団体が設けている文学賞へ積極的に応募されている会員が多数いると推察されます。今回の講演会の内容が少しでも参考になったのではないかと、会員の今後の活躍に期待したいと思います。

講演会終了後の暑気払いを兼ねた懇親会には25名が出席し、岡崎先生にも加わっていただきました。時間の関係で講演会では講師への質疑応答ができませんでしたので、懇親会では、岡崎先生への個別の質問が多くなされ、先生が丁寧にお答えしてくださいました。また、歓談の方も盛り上がり、会員相互の親睦が図られました。

第2回編集会議を開催・『朝明』第7号は編集へ

朝明第7号の原稿提出は9月末日に締め切り、総数88編(前号は101編)の作品が集まりました。部門ごと提出数は以下のとおりです。()内の数字は前号のもの。

- ・創作(小説) 7編(7) ・評論 3編(6) ・随筆 13編(11) ・詩 10編(10)
- ・短歌 20編(26) ・俳句 1編(2) ・川柳 6編(5)
- ・特集「ターニングポイント」 28編(34、テーマは「旅」)

10月4日(木)に第2回編集会議が開催され、表紙デザインは宮原隆岳氏の漆器写真に決定しました。今後は、平成31年1月1日の発行に向けて、各部門の編集委員による原稿確認・校正作業が続きます。次回の第3回編集会議は、11月8日(木)を予定しています。

協会のホームページ開設に向け検討段階に入る

5月21日開催の定期総会において、会員増加のための広報強化について活発な議論がありました。

この度、高杉治憲副会長から寄金の申し入れがありました。これは本年2月17日に亡くなられた松本富生前会長が生前協会のホームページを開設することを望んでいたことを踏まえ、これを叶えるために高杉副会長から申し入れがなされたものです。

インターネット社会と言われて既に久しいですが、文芸団体においてもネットやSNSというツールを使って広報を強化することは必須アイテムになっています。これらのツールを使わず会員数の増加(特に若い世代)を図ることには限界があります。

今後は、他団体の例を参考にしながら、魅力的な当協会ホームページを作成したいと考えております。作成の発注は、実績のある県内の業者とし、SNSとしてはフェイスブックを活用する予定です。

これらに関することは今後事務局が担当することとなります。会員からの意見を広く募集いたしますので事務局までお寄せください。いろいろな意見・アイデアを取り入れて、会員増加につながる広報強化のためのページにしたいと考えています。

スケジュールとしては、役員・会員の協力を得ながらコンテンツの作成を進め、来年3月までには開設し、併せてフェイスブックの運用も開始したいと考えています。なお、フェイスブックの運用に当たっては、会員情報をたくさん載せたいと考えています。会員からの情報提供のご協力をよろしくお願いいたします。

『創作への志』 会員通信 No.12 小説部門 高杉治憲

私が生きて来た73年の人生は、小さな奇跡に導かれてきたように思えてならない。それは今も続いている。地球上に生を受けた全ての人々とその命は、それぞれの奇跡の中で生きぬいたのではなからうかと、最近考えるようになった。

私は61歳で小説を書くチャンスに遭遇したお蔭で、年輪を重ねると更に小さい奇跡をも発見できることに気づかされた。限りある命の先行きが見えて来た今、誰かに幸せを届けられる創作を心掛けている。

§ 寄贈書籍の紹介 §

- 「浪漫派」2018年5月号 No.256・7月号 No.257・9月号 No.258／発行所・浪漫派短歌会[発行所からの寄贈]
- 「千代國一の短歌」横山岩男著／発行・現代短歌社／発売・三本木書院／発行日・2018年8月21日[著者からの寄贈]
 - ・著者が恩師と共に歩んだ50年を記念し刊行したもの。恩師の作品900首を鑑賞し、総頁数510頁の大作である。
- 「川柳ベストコレクション 三上博史」／発行所・新葉館出版／発行日・2018年1月28日[著者からの寄贈]
 - ・川柳総合雑誌「川柳マガジン」(新葉館出版)の第200号刊行を記念して、全国200名の川柳作家の作品をシリーズ化したもの。著者の自選句240句を収載している。

* ∞ * 事務局通信 * ∞ *

ホームページの開設がいよいよ実現する運びとなり、事務局もいよいよ慌しくなってきました。高杉副会長からの寄金を大切にに使わせていただき、何とか立派なものにしたいと思っています。

会員情報を充実したいと考えています。会員の中で自著を出版した、文芸関係の賞を受賞した、そういった方がいましたら、是非事務局までご連絡ください。本会報に載せて周知します。喜ばしいトピックはみんなで分かち合しましょう。(三上)